

寅彦の見た風景 4

野村 学

【土佐郡第一高等小学校編】

「余ガ六歳ノ歳初メニ土佐郡江ノ口小学校ニ入学シ修学スルコト四年許リ土佐郡第一高等小学校ニ入ル」

(明治 25 年 春秋之夢・『寺田寅彦全集』第 18 卷 1998 年より)

寅彦の学校教育の始まりが江ノ口小学校であることはよく知られている。校内には創立百周年の顕彰として寅彦の肖像レリーフが設置されてもいる。一方で寅彦が同校卒業後に



写真 1) 江ノ口小学校の顕彰碑

入学・卒業した土佐郡第一高等小学校については言及されることが少ない。このことは「寺田寅彦～定説・思い込み・気になること～」(「榎」第 76 号・平成 28 年 6 月・寺田寅彦記念館友の会)の中で四宮義正氏も指摘されている。果たして寅彦少年が楽しい学校生活を送った土佐郡第一高等小学校はどこにあったのだろうか。

榎原忠彦著『寅彦と虎彦』(高知新聞企業・平成 11 年)には「高等小学校は

(略)、明治二十六年版(藤戸三頭製作)の地図で捜せば、師範学校・中学校(現高知追手前高校)と道路一筋隔てた東側(略)にあった。」とある。確かに『高知城下町読本-改訂版』(高知市・平成 16 年)に掲載されている明治二十六年版の地図をみると該当の場所に「高等学校」と記載がある。この「高等学校」が寅彦の学んだ「土佐郡第一高等小学校」であることを示す資料が他にないだろうか。

そこで『高知市史』(名著出版・昭和 48 年)を調べてみると「第七章 教育 第二節 小学校」の項に「明治二十年小学校令改正の結果、高等小学校設立の必要起るや、我高知市は下知、潮江、江ノ口、小高坂、鴨田、初月、秦、一宮の諸村と連合して土佐郡第一高等小学校を追手筋に建て、其管理を土佐郡長に委任せり」、「同二十八年三月に至り、本市は遂に連合より独立して新に高知市高等小学校を建設せり、是に於て土佐郡第一高等小学校組合は其敷地校舎を併せて悉く之を我高知市に譲り、而して自らは北与力町に移転せり。」とある(注:下線筆者)。寅彦が土佐郡第一高等小学校に通った期間は「寺田寅彦五校入学願書など」(「榎」第 80 号・平成 28 年 6 月・寺田寅彦記念館友の会)によると明治 21 年から同 25 年。『高知市史』の記述に従うと高知市・8 諸村連合の学校として追手筋に設置さ

れていた時期にあたる。そして寅彦卒業後の明治28年3月に土佐郡第一高等小学校は高知市から独立し北与力町へと移転した。

この二つの高等小学校について高知市立自由民権記念館所蔵の明治29年作成『土佐國高知市街図』(明治30年4月出版)で捜してみると、『寅彦と虎彦』で言及されている現高知追手前高校と道路一筋隔てた東側に「市高等小学校」が、高知城北東の北与力町(現永国寺町)には「土佐郡高等小学校」が示されている。つまり明治26年の地図

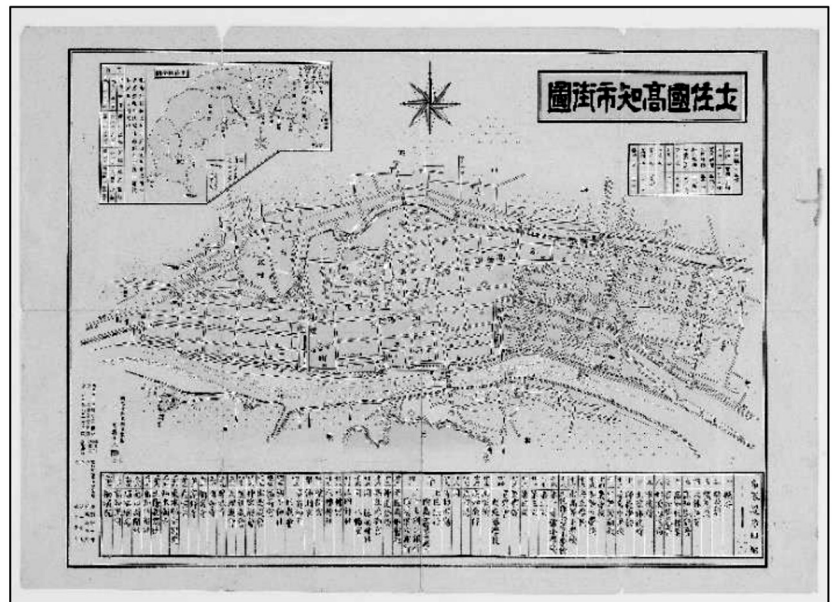


図1) 土佐國高知市街図(高知市立自由民権記念館所蔵)

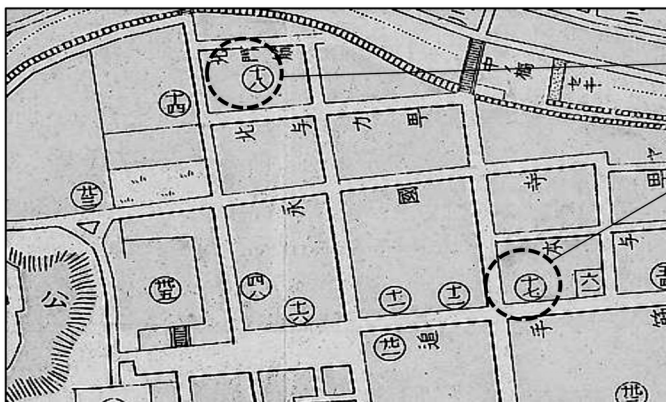


図2) 小学校の位置

十二	尋常中學校
十三	中學海南校
十四	農學校
十五	高等女學校
十六	公立學校
十七	市高等小學校
十八	土佐郡高等小學校
十九	第一尋常小學校
二十	第二同
廿一	第三同
廿二	第四同
廿三	圖書館

図3) 小学校の名称



写真2) 土佐郡第一高等小学校のあった場所

にある「高等学校」は確かに寅彦が通っていた独立前の高知市・諸村連合の土佐郡第一高等小学校だった。

さて、寅彦日記の始まりの年であり高等小学校の最終学年時でもある明治25年。同年の日記には、放課後友人を訪ねたり訪ねられたりする様子や友人・川田君の愛犬タミと遊んだこと、狐狗狸三で遊ぶお姉さん達にその非科学的なことを説いて怒らせたことなど、15歳の寅彦少